

産学官の連携で安心・安全な暮らしの確保

～包括的連携・協力に関する協定～

広島工業大学のコンクリート耐久性に関する研究について、中国技術事務所の施設を活用するなど研究協力を行っています。

包括的連携・協力に関する協定書に基づき、広島工業大学十河茂幸教授及び学生のみなさんが中国技術事務所所有の凍結融解試験機等を使用し「初期凝結過程の過振動・再振動が凍結融解抵抗性に及ぼす影響に関する研究」のため、試験を実施しています。（平成28年5月～8月まで実施予定）

中国技術事務所が所有する試験施設の活用を通して、中国地方の社会資本の品質確保及び耐久性向上に反映されるものと期待されます。

締固め時に過振動及び再振動を施したコンクリート供試体を対象に凍結融解繰り返し試験を行い、コンクリートの耐凍結性能の低下度合いを把握することで施工時の締固め方法のあり方を検証します。



十河茂幸教授



凍結融解を繰り返し調査する
凍結融解試験機



温度切換方法による
凍結融解サイクル画面



耐凍害性を評価する
動弾性係数測定